

山陰への新幹線整備について

中国部会提出
説明担当 境港市

山陰への新幹線の整備については、大阪市から鳥取県・島根県を經由して下関市に至る「山陰新幹線」と、岡山市と松江市を結ぶ「中国横断新幹線」の2つの構想があります。

いずれの新幹線構想も、この地方が関西や九州、山陽などと新幹線ネットワークで結ばれ、新幹線交通網のミッシングリンクが解消されることで「人とモノの交流」が活性化し、観光やビジネスなどを通じて地域振興に大きな成果が上がることを期待されています。また、民間投資が増加することで、その効果は国土全域に好循環を及ぼすものと考えられます。

しかしながら、これら新幹線整備については、いずれの構想も、昭和48年に基本計画路線に指定されて以降、40年以上全く進展していない状況であります。

近年多発する大規模災害による太平洋側の広域交通の代替ルートとしての日本海国土軸の形成、また地方分散型の国土形成が推進され東京への一極集中による地方への影響の緩和という観点から、この2つの路線整備の構想を整備計画路線に格上げするよう、強く要望します。